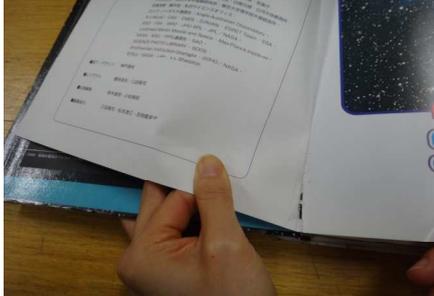
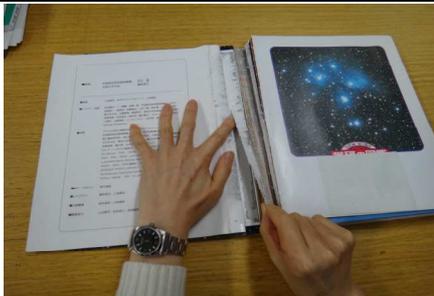
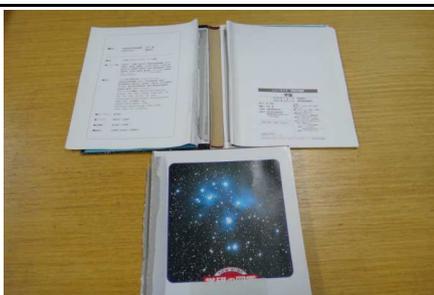


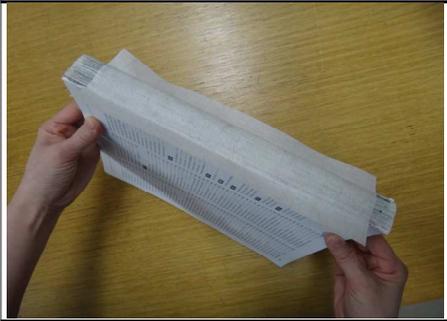
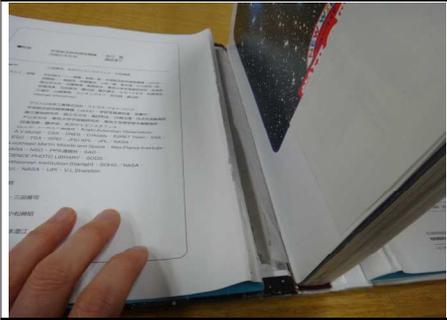
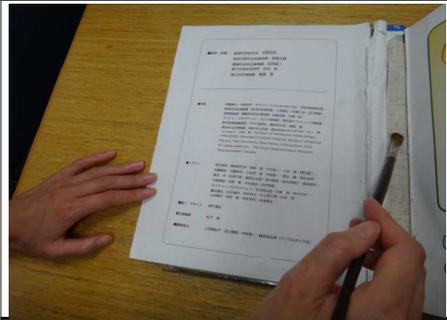
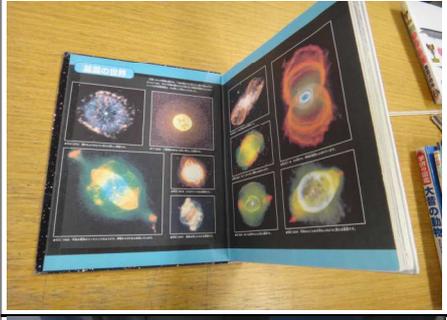
## ③寒冷紗が切れた本の修理

(やってみよう！本の修理)

	修理手順	注意点
	<p>① 中身と表紙がはずれて、寒冷紗が切れています。本を解体して中身と表紙をつなげるための修理をします。</p>	<p>ページが全てそろっているか、なくなっていないかを確認しながら解体します。</p>
	<p>② 遊び紙を中身からはがします。のどの部分を開くようにすると、はがれやすくなります。どちらかがはがれたら、天と地の両方を同じようにはがします。</p>	<p>遊び紙がやぶれないように注意してはがします。</p>
	<p>③ 次は見返しと寒冷紗を外します。見返しの下に後で新たな寒冷紗を貼るため、見返しは2～3cmほど丁寧にはがし、古い寒冷紗が残っている場合はすべて外します。</p>	<p>見返しをはがす際にフィルムコートが邪魔になる場合は、カッター等で少し切れ込みをいれるとはがしやすくなります。</p>
	<p>④ 中身と表紙が完全に外れた状態。</p>	<p>花切れやしおりなどが付いている時はなくさないように取っておきます。</p>
	<p>⑤ 中身の背についている寒冷紗も外します。</p>	<p>背の部分に古いのり等が残っている時はきれいにはがしてください。</p>
	<p>⑥ 中身の背にボンドを付け、新しい寒冷紗をはります。</p>	<p>寒冷紗の縦は中身よりも2cmほど短く、幅は本の中身の厚さプラス4cm（両幅各2cm）程度にします。この両幅の羽の部分が表紙とつなぐ大事な役割を果たします。短すぎると強度が弱くなるので注意しましょう。</p>

## ○寒冷紗が切れた本の修理

(やってみよう！本の修理)

	修理手順	注意点
	<p>⑦ 寒冷紗がついた状態。</p>	<p>背が固まり寒冷紗が完全につくまで1日程度乾かしてください。</p>
	<p>⑧ 表紙と中身を取り付けます。</p>	<p>一人で作業を行うときはブックエンド等に本を立てかけ、クリップ等を使い固定すると作業がしやすくなります。</p>
	<p>⑨ 寒冷紗と見返しを持ち上げて、表紙部分、溝にそれぞれのりをしっかりつけ、寒冷紗を貼ります。 貼り付けた寒冷紗の上と中身の端にのりをつけ見返しを貼ります。</p>	<p>中身の端は背から3ミリ程度の部分が見返しにつくように、のりをつけます。</p>
	<p>⑩ 反対側も同様の作業をした後、目玉クリップで溝部分を挟んで固定します。 その際、編み棒等を溝にのせて固定すると、しっかりのりが付きます。</p>	<p>クリップで留まらない幅の本はゴムで固定しても良いですが、その際は本が傷まないように紙等に包んだ上から固定するとよいでしょう。</p>
	<p>⑪ 1日以上乾燥させた後、クリップを外し、状態を確認します。</p>	<p>見返しのなどが破れているときはのりなどで整えます。</p>
	<p>⑫ 完成</p>	